



校報

大野っ子

洋野町立大野小学校
校報 第7号 文責 久保田
令和5年5月31日(水)

《いつまでも友だちだよ、セミョンさん・マクシムさん》

ウエノセミョンさん、マクシムさんとお別れをして約1か月。まだ、学校の中に二人がいるような気がしてなりません。

令和4年6月7日に1年生に入学してから、約11か月、運動会以外のすべての行事をみんなとともに行いました。入学当初は、通訳を通して、翻訳機を使ったりしながら学校生活を送っていました。周りの子ども達も戸惑いながらも、身振り手振りで何とかコミュニケーションをとろうとしていてその姿がとても微笑ましく、通じたときの笑顔はとても印象的でした。子ども達は、二人とともに過ごす中で、互いの違いを受け入れ、コミュニケーションの取り方など身をもって学びました。外国にルーツがあるに限りなく違いを受け入れるということは普段の生活にも今後生きていくことでしょう。セミョンさん、マクシムさんは、ランドセルを背負い、元気に登校しているとのこと。いつかまた再開できること、二人が健やかに成長することを祈ってやみません。私たち教職員一同、試行錯誤の毎日でしたが、充実した日々を過ごすことができました。

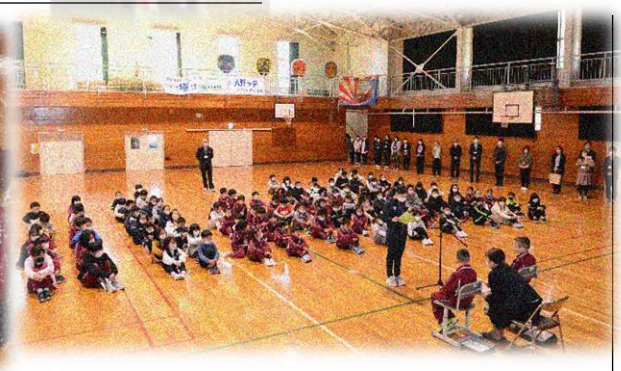
ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、二人の受入れに関してご支援・ご指導いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



入学時の二人 ↑ ↑

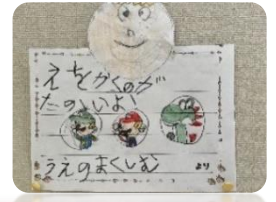
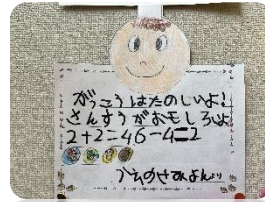


ビデオを観る二人 ↑ ↑

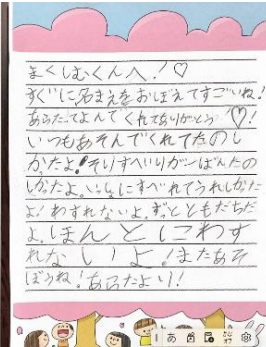
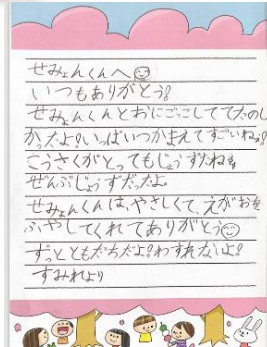


【たくさんの思い出】

一年生への
メッセージ



風神雷神が
楽しかった
です。



元気でね



昨年、絵のコンクールに入賞したマクシムさんがメダルをもらって以来、朝会で表彰があるたびに、悲しくなってしまうセミョンさん。見かねたこうすけさん(中1)が、賞状とメダルを作ってプレゼントしてくれました。セミョンさんは大喜び。こうすけさんの優しさに二人を通して豊かな心が育っていることを実感し、いつかセミョンさんにもメダルをと思っていました。お別れ会で、校長から日本語の勉強などたくさん頑張った二人に賞状と金メダルをプレゼントしました。

涙が止まらない



日本の学校生活、日本の文化にたくさんふれた二人でした。給食も大好きでしたが、納豆だけは、「なにこれー?」と一口食べて残していました。



Увидимся снова **えのせみよし** また会おうね **また会おうね**